

各 位

2018 年 1 月 10 日

PharmaIN 社との共同研究契約締結について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「当社」）は、PharmaIN Corporation（本社：ワシントン州ボセル、以下「PharmaIN 社」、President and Chief Executive Officer：Elijah Bolotin, Ph.D.）との間で共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。（PharmaIN 社からのリリースは[こちら](#)）

PharmaIN 社は、Protected Graft Copolymer (PGC™) と呼ばれる独自の薬剤送達技術と革新的なペプチド修飾技術を合わせ持つベンチャー企業です。また、この PGC プラットフォーム技術は、ペプチドに留まらず、タンパク質や難溶性の低分子化合物などの物性改善や体内動態の改善にも適用できる可能性を有しております。この契約は、共同研究の対象となる化合物についての 2 年間の排他的なライセンス交渉権を含み、当社は共同研究の進捗状況に応じて、3 回に分けて総額 17 百万ドルを PharmaIN 社に出資いたします。

創薬難易度がますます高まる中、当社が有する低分子・中分子創薬における強みと、PharmaIN 社が有する薬剤送達技術がシナジー効果を発揮し、イノベーションが生み出されることが期待されます。今回の PharmaIN 社との共同研究を起点に、患者さまや医療関係者の皆さまから必要とされる薬剤を創製し、お届けすることを目指してまいります。

当社は「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という企業理念のもと、「創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける」ことを経営目標に掲げ、自社研究開発に加え国内外のアカデミアや企業との連携など、社外リソースの活用を積極的に推進しています。今後も、革新的な新薬の継続的な提供を通じ、世界中の皆さまの健康と QOL の改善に貢献できるよう努力してまいります。

以 上

【PharmaIN Corporation について】

PharmaIN 社は、シアトル近郊のボセルに拠点を置くベンチャー企業で、Protected Graft Copolymer (PGC™) と呼ばれる独自の薬剤送達技術を用い、医薬品の研究開発を行っております。PharmaIN 社が有する技術は、ペプチドだけでなく、タンパク質や難溶性の低分子化合物の薬物動態の改善にも適用できるものであり、これまでもパートナー企業との協業から、新規薬剤の開発、既存薬剤の改良や価値最大化に取り組んできております。

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596